



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月1日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 キング

コード番号 8118 URL <http://www.king-group.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田 幸雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理部門管掌 (氏名) 石井 修二

TEL 03-5434-7282

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	9,945	△9.0	618	6.7	763	△1.8	246	△41.7
22年3月期第3四半期	10,933	△18.1	579	11.3	777	0.7	422	21.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	11.17	—
22年3月期第3四半期	19.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	21,148	17,884	84.6	810.93
22年3月期	21,617	17,786	82.3	806.47

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 17,884百万円 22年3月期 17,786百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
23年3月期	—	0.00	—		
23年3月期 (予想)				6.00	6.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,900	△8.8	610	△29.5	810	△23.8	320	△40.7	14.51

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 24,771,561株 22年3月期 24,771,561株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 2,717,079株 22年3月期 2,716,913株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 22,054,558株 22年3月期3Q 22,054,779株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」を御覧ください。

添付資料の目次

	頁
1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
【第3四半期連結累計期間】	6
【第3四半期連結会計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善などにより緩やかな回復基調を維持しておりますものの、雇用情勢や所得環境は依然として厳しく、景気の先行き不透明感は払拭されないまま推移してまいりました。

ファッション業界におきましては、一部に明るい兆しが現れてきましたが、個人消費の本格的な回復には至らず、依然として予断を許さない経営環境が続きました。

このような環境のもと当社グループでは、「選択と集中」、「徹底した独自性の追求」を基本方針に、各事業毎の方針を執着心を持って実行すると共に、生産性の向上や経費の節減に努めてまいりました。

その結果、売上高は99億45百万円（前年同期比9.0%減少）、経常利益は7億63百万円（前年同期比1.8%減少）となり、特別損失で投資有価証券評価損と資産除去債務に関する会計基準の初年度適用に伴う影響額を計上しましたため、四半期純利益は2億46百万円（前年同期比41.7%減少）となりました。

事業の種類別セグメントの状況は以下のとおりであります。

（アパレル事業）

消費者からの更なる安心・信頼・満足を勝ち得るべく、高品質・高品位の「強いものづくり」の継続を基本に、商品力やブランドロイヤリティの更なる向上、複合ブランドショップの開発、「店頭活性化マニュアル」の徹底活用による店頭運営力の強化を推進いたしました。前連結会計年度に実施した不採算ショップ廃止の影響や天候不順の影響もあり、売上高は88億62百万円、営業利益は6億76百万円となりました。

（テキスタイル事業）

「プリントのプロ集団」である企画提案型テキスタイルコンバーターとして、意匠企画力の向上による高感度・高品質商品の提供を行うと共に、新規得意先の開拓にも注力いたしました結果、売上高は10億82百万円、営業利益は5百万円となりました。

なお、平成22年4月1日付で、株式会社ポーンが株式会社キングテキスタイルを吸収合併いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は211億48百万円となり、前連結会計年度末比4億69百万円の減少となりました。

また、純資産は178億84百万円となり、前連結会計年度末比98百万円の増加となり、自己資本比率は84.6%となりました。

（連結キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報）

当第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは9億78百万円増加いたしました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上と売上債権の回収によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは12億48百万円減少いたしました。これは主に、定期預金の預入による支出と内装設備への支出によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは2億26百万円減少いたしました。これは主に、配当金の支払によるものであります。

これらの結果、現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ、4億95百万円減少し、54億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の通期の連結業績予想は概ね予想どおりに推移しており、現時点においては、平成22年11月9日に発表いたしました業績予想の変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因により予想数値と異なる場合があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理

1. 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

2. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

3. 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められた場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法によっております。

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

[会計基準等の改正に伴う変更]

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益はそれぞれ1百万円減少しており、税金等調整前四半期純利益は73百万円減少しております。

また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は88百万円であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,970	5,966
受取手形及び売掛金	1,571	1,998
商品	2,094	2,013
原材料及び貯蔵品	50	51
繰延税金資産	123	235
その他	263	246
貸倒引当金	84	102
流動資産合計	9,989	10,407
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,317	2,346
土地	3,558	3,562
その他(純額)	397	402
有形固定資産合計	6,273	6,311
無形固定資産	57	67
投資その他の資産		
投資有価証券	1,077	1,137
長期貸付金	20	29
繰延税金資産	181	224
投資不動産	2,535	2,416
差入保証金	763	756
その他	364	384
貸倒引当金	114	117
投資その他の資産合計	4,828	4,831
固定資産合計	11,158	11,210
資産合計	21,148	21,617

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,342	1,158
短期借入金	380	380
1年内返済予定の長期借入金	-	70
未払法人税等	99	268
賞与引当金	116	320
役員賞与引当金	7	14
返品調整引当金	4	14
その他	452	896
流動負債合計	2,401	3,121
固定負債		
長期借入金	50	-
退職給付引当金	322	337
資産除去債務	88	-
長期未払金	227	231
その他	173	139
固定負債合計	861	709
負債合計	3,263	3,831
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,346	2,346
資本剰余金	8,127	8,127
利益剰余金	8,060	8,012
自己株式	744	744
株主資本合計	17,788	17,741
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	95	45
評価・換算差額等合計	95	45
純資産合計	17,884	17,786
負債純資産合計	21,148	21,617

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	10,933	9,945
売上原価	5,111	4,524
売上総利益	5,821	5,421
販売費及び一般管理費	5,241	4,803
営業利益	579	618
営業外収益		
受取利息	39	20
受取配当金	24	24
受取地家賃	133	155
その他	51	44
営業外収益合計	247	244
営業外費用		
支払利息	4	3
貸貸費用	33	84
その他	12	11
営業外費用合計	49	99
経常利益	777	763
特別利益		
固定資産売却益	1	0
貸倒引当金戻入額	16	23
特別利益合計	17	23
特別損失		
固定資産除却損	49	59
投資有価証券評価損	-	145
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	72
特別損失合計	49	277
税金等調整前四半期純利益	745	509
法人税、住民税及び事業税	173	142
法人税等調整額	149	120
法人税等合計	323	263
少数株主損益調整前四半期純利益	-	246
四半期純利益	422	246

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	3,385	3,252
売上原価	1,508	1,412
売上総利益	1,877	1,840
販売費及び一般管理費	1,686	1,554
営業利益	191	285
営業外収益		
受取利息	13	6
受取配当金	5	5
受取地代家賃	42	50
その他	14	10
営業外収益合計	75	73
営業外費用		
支払利息	1	1
貸貸費用	10	33
その他	0	4
営業外費用合計	12	39
経常利益	253	320
特別利益		
貸倒引当金戻入額	9	3
特別利益合計	9	3
特別損失		
固定資産除却損	9	1
投資有価証券評価損	-	145
特別損失合計	9	146
税金等調整前四半期純利益	253	177
法人税、住民税及び事業税	44	85
法人税等調整額	73	52
法人税等合計	117	138
少数株主損益調整前四半期純利益	-	38
四半期純利益	135	38

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	745	509
減価償却費	323	335
その他の償却額	26	18
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	72
貸倒引当金の増減額(は減少)	7	19
賞与引当金の増減額(は減少)	247	204
役員賞与引当金の増減額(は減少)	3	7
返品調整引当金の増減額(は減少)	15	10
退職給付引当金の増減額(は減少)	21	15
受取利息及び受取配当金	63	44
支払利息	4	3
固定資産売却損益(は益)	1	0
固定資産除却損	49	59
投資有価証券評価損益(は益)	-	145
売上債権の増減額(は増加)	718	426
たな卸資産の増減額(は増加)	128	80
仕入債務の増減額(は減少)	334	184
その他	185	138
小計	860	1,237
利息及び配当金の受取額	64	46
利息の支払額	3	3
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	361	302
営業活動によるキャッシュ・フロー	559	978
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	70	1,070
定期預金の払戻による収入	470	570
有形固定資産の取得による支出	147	577
有形固定資産の売却による収入	3	4
無形固定資産の取得による支出	47	5
投資有価証券の取得による支出	101	1
貸付けによる支出	7	4
貸付金の回収による収入	22	13
差入保証金の差入による支出	44	73
差入保証金の回収による収入	83	65
投資不動産の取得による支出	-	166
その他	13	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	146	1,248
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	5	7
長期借入れによる収入	-	50
長期借入金の返済による支出	-	70
自己株式の取得による支出	0	0
配当金の支払額	176	198
財務活動によるキャッシュ・フロー	182	226
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	524	495
現金及び現金同等物の期首残高	7,020	5,896
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,544	5,400

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める衣料品等繊維品事業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

在外連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、国内において衣料品等繊維品事業を行っております。

したがって、当社は、事業の種類別セグメントとして「アパレル事業」と「テキスタイル事業」の2つを報告セグメントとしております。

「アパレル事業」は、アパレル・ファッショングッズの企画・仕入・販売、「テキスタイル事業」は、テキスタイルの企画・仕入・販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

	報告セグメント			調整額 (注)1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2 (百万円)
	アパレル 事業 (百万円)	テキスタイル 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	8,862	1,082	9,945	-	9,945
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	15	48	63	63	-
計	8,878	1,131	10,009	63	9,945
セグメント利益	676	5	681	63	618

(注)1. セグメント利益の調整額 63百万円には、セグメント間取引消去 0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 63百万円が含まれております。

尚、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結会計期間(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)

	報告セグメント			調整額 (注)1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2 (百万円)
	アパレル 事業 (百万円)	テキスタイル 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	2,904	347	3,252	-	3,252
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	17	22	22	-
計	2,909	365	3,274	22	3,252
セグメント利益	307	3	304	18	285

(注)1.セグメント利益の調整額 18百万円には、セグメント間取引消去 1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 17百万円が含まれております。

尚、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

該当事項はありません。